LIXIL

プログコートフェンス F1型・F2型・F3型 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中･軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

●フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
●がけ上や高台など、転落したらケガをするおそれのある場所には、フェンスを使用しないでください。

注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

＜施工上のご注意＞

注意

●現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結器具を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
●柱と本体ジョイント部の間隔は200mm以内で施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。

ポイント

●本体パネルは、現場での高さ切詰めは行えません。
●規格品「本体パネル」の傾斜施工は14°（1/4勾配）までとし、これを超える40°までの傾斜施工を行う場合は、格子ピッチを拡げた「専用本体パネル（特注）」による施工をおすすめします。

＜施工上の注意＞

⚠ 注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当てを行ない、救助を第一に心がけてください。

＜基礎工事について＞

⚠ 注 意

●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系混和剤をご使用ください。

●指定基礎寸法は必ず守ってください。

●柱埋込み時には水抜き孔を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。

●柱の内部にモルタルを詰めたりしないでください。

■梱包明細表

【1】F1型本体

名　称	略　図	員　数
本体パネル		1

【2】F2型本体

名　称	略　図	員　数
本体パネル		1
縦胴縁フタ		1
中間連結部材		1
縦胴縁キャップ		4
中間連結金具		1
【2-1】M4×8ナベ小ネジ		1
【2-2】φ4×8サラタッピンネジ3種(D=6)		8

【3】F3型本体

名　称	略　図	員　数
本体パネル		1

【4】胴縁セット

名　称	略　図	員　数
胴縁		2
【4-1】φ4×25サラネジ3種(D=6)		4

【5】自在柱（T―8・T―10用）

名　称	略　図	員　数
自在柱（T―8・T―10用）		1
柱キャップ		1
ゴムスペーサー		1
【5-1】φ4×8サラタッピンネジ3種(D=6)		2

C335_201210E

■梱包明細表（つづき）

【6】自在柱（T−16・T−18・T−20用）

名　称	略　図	員　数
自在柱（T−16・T−18・T−20用）		1
柱キャップ		1
【6-1】φ4×8サラタッピンネジ3種(D=6)		2

【7】コーナー格子セット

名　称	略　図	員　数
コーナー格子材		1
コーナー格子取付金具		2
【7-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種		2
【7-2】φ4×13バインドテクスネジ		4

【8】F2型切詰め部材セット

名　称	略　図	員　数	
		T-8	T-10
切詰め用縦胴縁		1	1
切詰め用縦胴縁フタ		1	1
格子胴縁キャップ		9	12
【8-1】φ4×13バインドテクスネジ		11	14
【8-2】φ4×8サラタッピンネジ3種(D=6)		9	12

【9】Fブラケットセット

名　称	略　図	員　数
ブラケット		2
ブラケット裏板		2
【9-1】M5×10トラス小ネジ		2
【9-2】φ4×19バインドテクスネジ		2
【9-3】φ4×13バインドテクスネジ		4

【10】ストレート継手

名　称	略　図	員　数
ストレート継手		2
【10-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種		4
【10-2】φ4×12サラタッピンネジ3種(D=6)※1		4

【11】自在コーナー継手

名　称	略　図	員　数
自在コーナー継手		2
【11-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種		8
【11-2】φ4×12サラタッピンネジ3種(D=6)※1		4

【12】格子胴縁キャップ

名　称	略　図	員　数
格子胴縁キャップ		2
【12-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種		2
【12-2】φ4×25サラタッピンネジ3種 (D=6) ※1		2
取付説明書	−	1
取扱説明書	−	1
注意シール	−	1

【13】F壁付け部品

名　称	略　図	員　数
壁付け部品		2
【13-1】φ5×25トラスタッピンネジ1種		4
【13-2】φ6×70(+)六角コークスクリュー		4
【13-3】M5×20トラス小ネジ		4
【13-4】φ4.8×45ナベ木ネジ		4
【13-5】M5平座金		4
【13-6】M5ターンナット		4
【13-7】M6平座金		4
【13-8】フィッシャープラグ		4
取付説明書	−	1
取扱説明書	−	1
注意シール	−	1

※1 F1型およびF3型のときに使用します。

1. 基本寸法と各部の名称

1-1 F1型基本寸法図

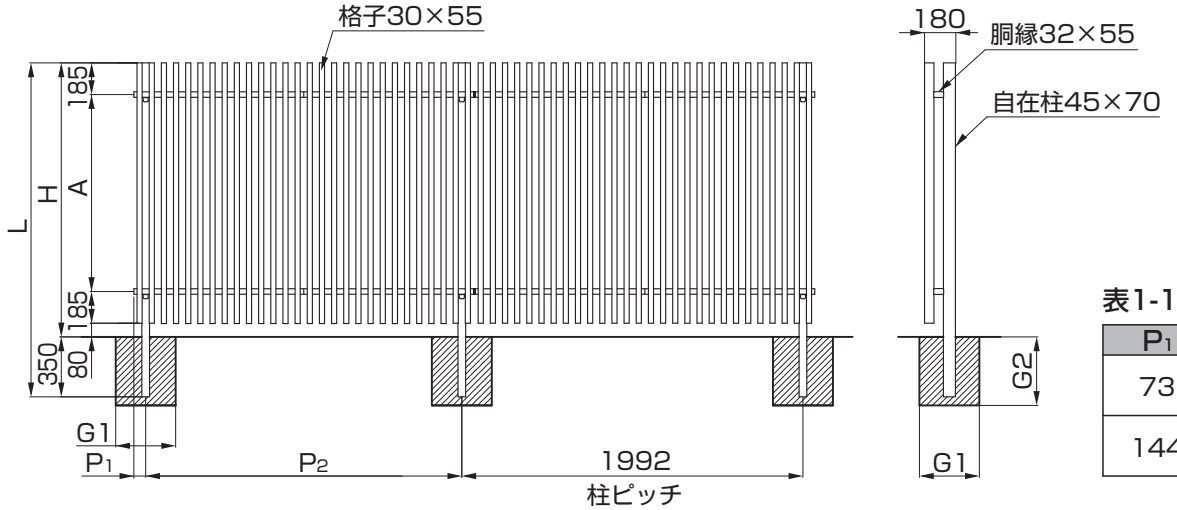


表1-1

P_1	P_2
73	1775
	1846
144	1704
	1775

図1-1　水平施工図

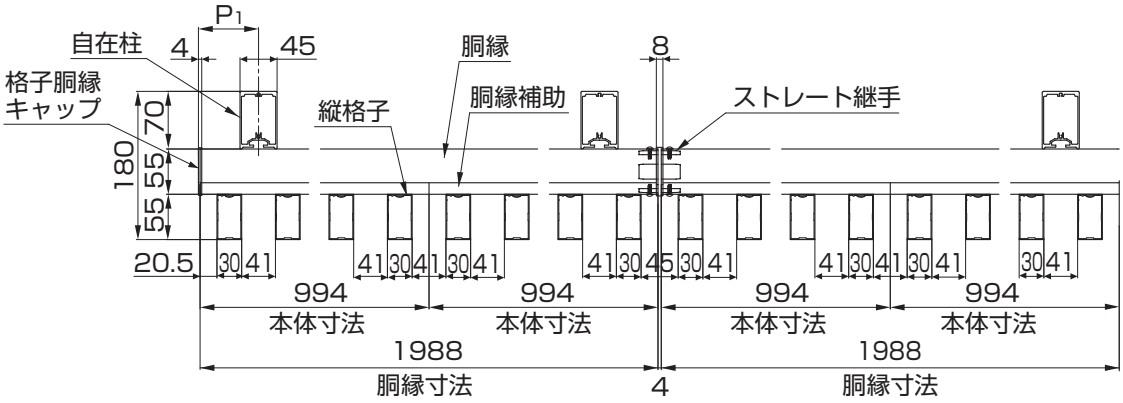


図1-2　断面詳細図

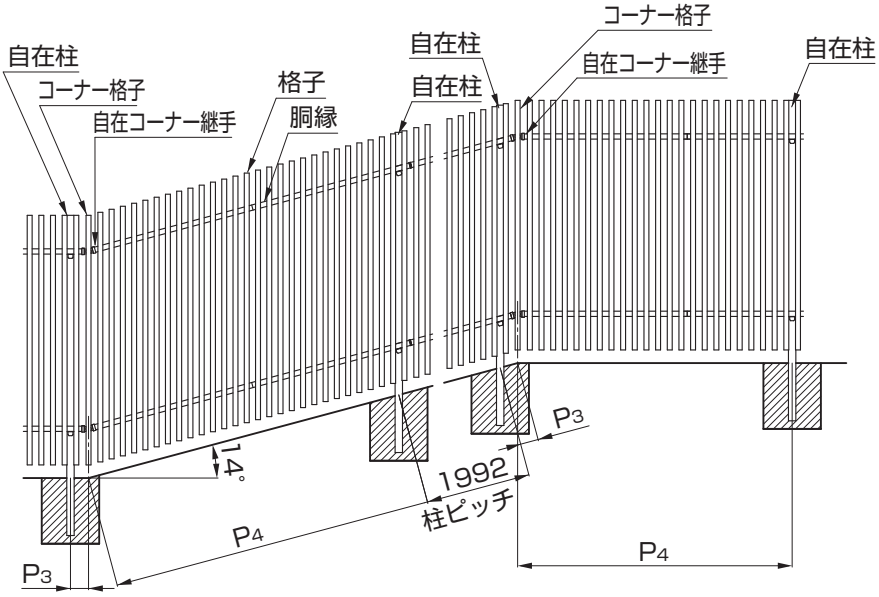


表1-2

呼称	H	L	A	G1	G2
T-16	1600	1950	1150	450	350
T-18	1800	2150	1350	500	350
T-20	2000	2350	1550	500	450

表1-3

P_3	P_4
110	1885
	1956
181	1885
	1956

図1-3　傾斜施工図

1.（つづき）

1-2 F2型基本寸法図

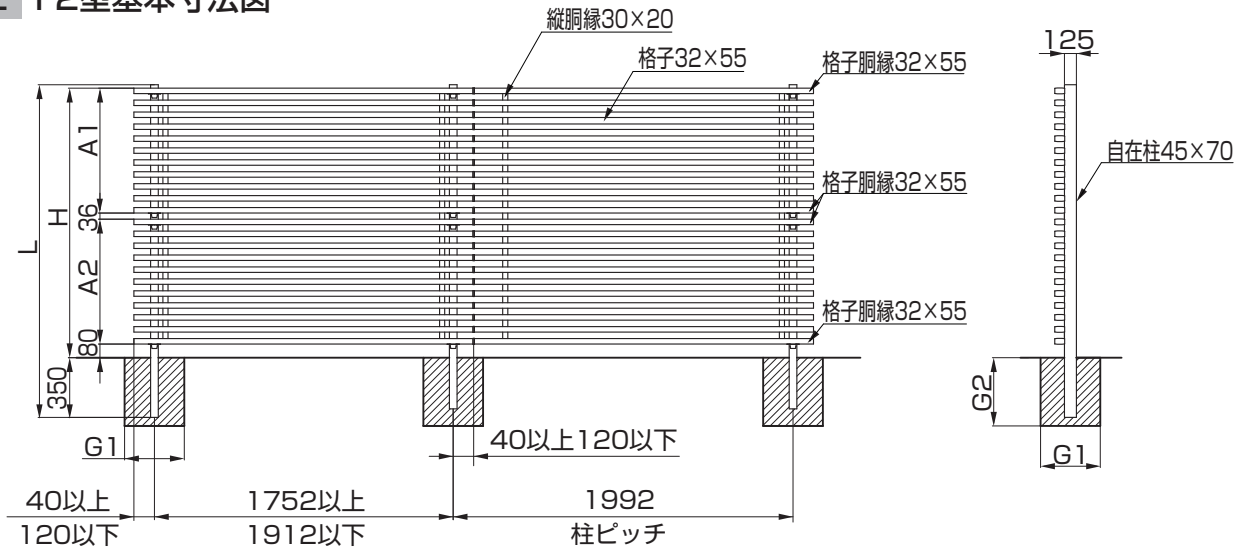


図1-4　水平施工図

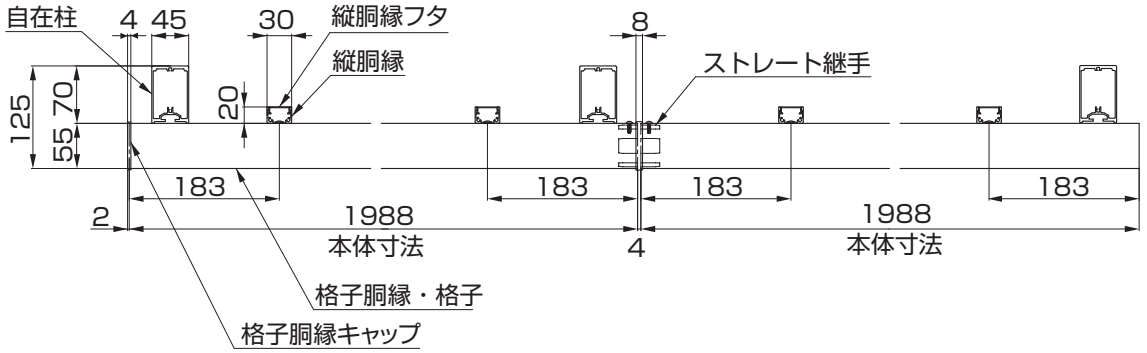


図1-5　断面詳細図

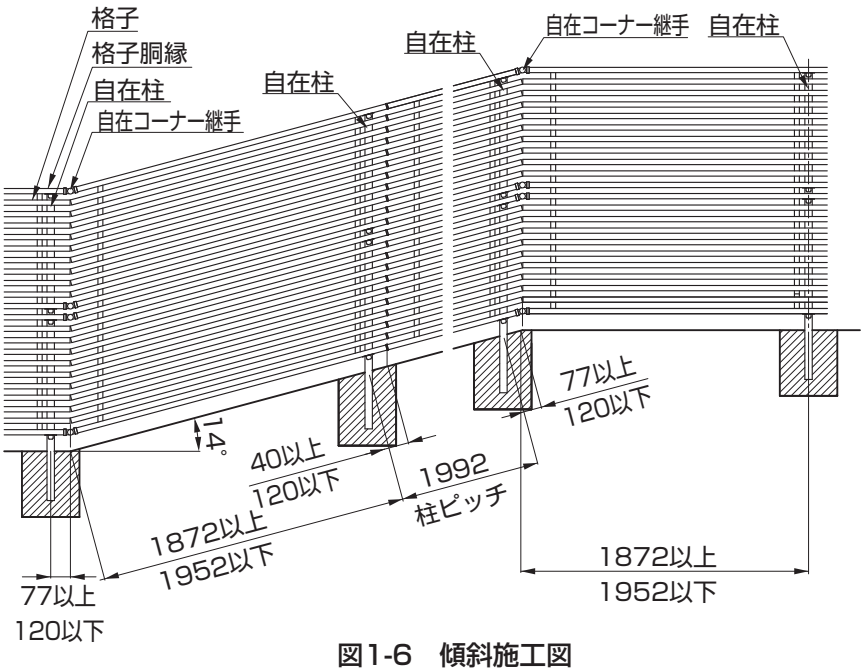


図1-6　傾斜施工図

表1-4

呼称	H	L	A1	A2	G1	G2
T-16	1580	1950	732 (T-8)	732 (T-8)	450	350
T-18	1790	2150	732 (T-8)	942 (T-10)	500	350
T-20	2000	2350	942 (T-10)	942 (T-10)	500	450

1.（つづき）

1-3 F3型基本寸法図

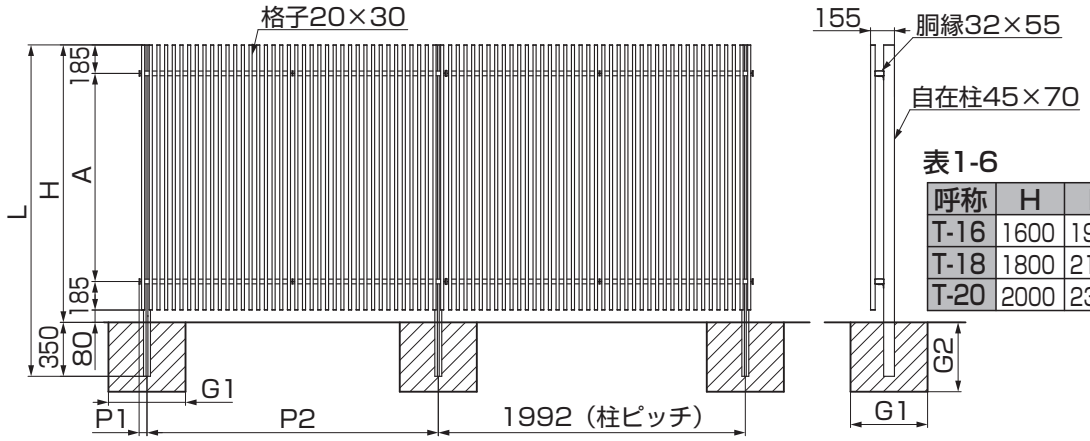


図1-7　T−16、T−18、T−20水平施工図

表1-5

P_1	P_2
51	1840
	1890
100	1791
	1850

表1-6

呼称	H	L	A	G1	G2
T-16	1600	1950	1150	450	350
T-18	1800	2150	1350	500	350
T-20	2000	2350	1550	500	450

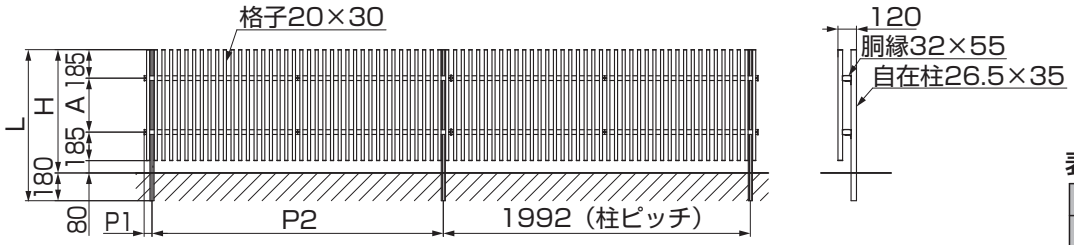


図1-8　T−8、T−10水平施工図

表1-7

P_1	P_2
51	1840
	1890
100	1791
	1850

表1-8

呼称	H	L	A
T-8	800	980	350
T-10	1000	1180	550

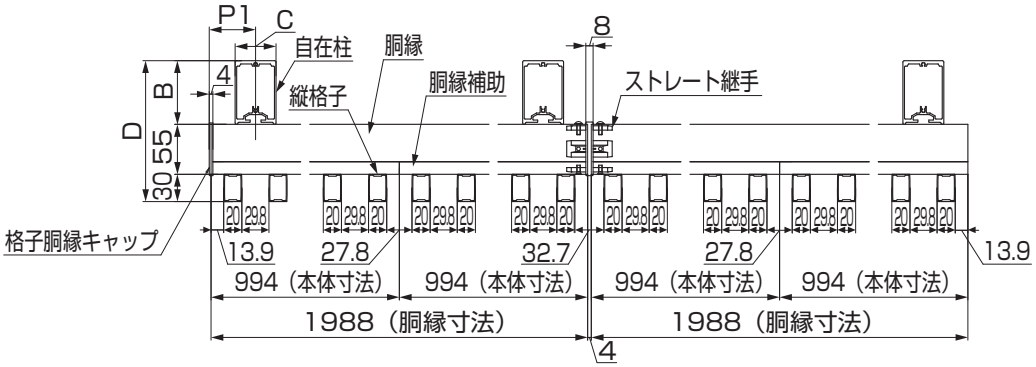


図1-9　断面詳細図

表1-9

呼称	B	C	D
T-8	35	26.5	120
T-10			
T-16	70	45	155
T-18			
T-20			

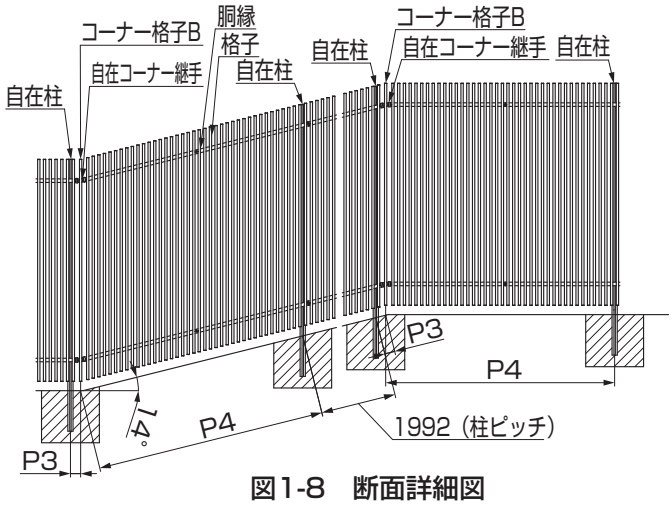


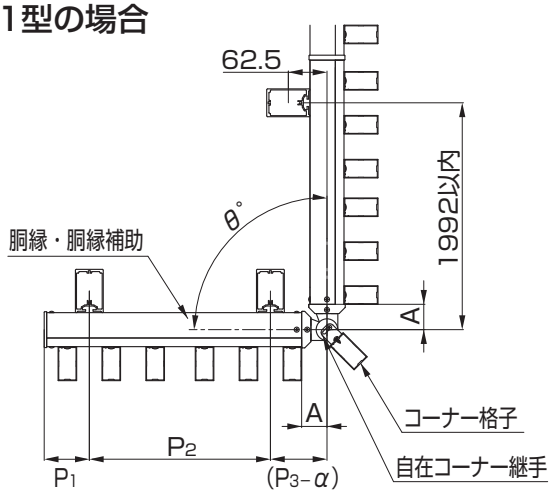
図1-8　断面詳細図

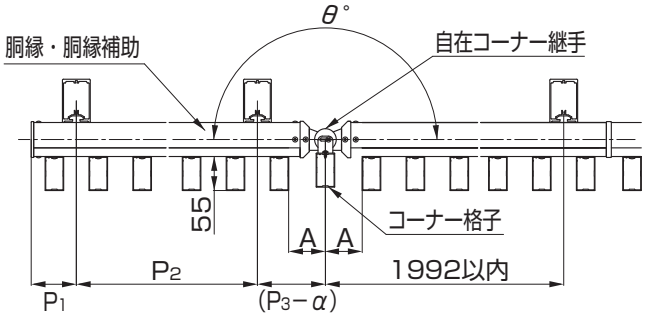
表1-10

P_3	P_4
88	1928
	1978
138	1928
	1978

1-4 コーナー施工寸法図

（1）F1型の場合





ポイント

●コーナー施工では、角度によって胴縁と胴縁補助（本体パネル）の切詰めが必要です。
表1-11を参照して切詰めてください。

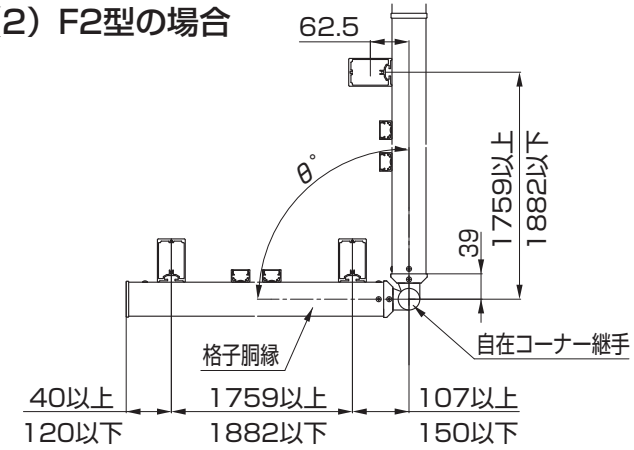
表1-11 切断寸法表

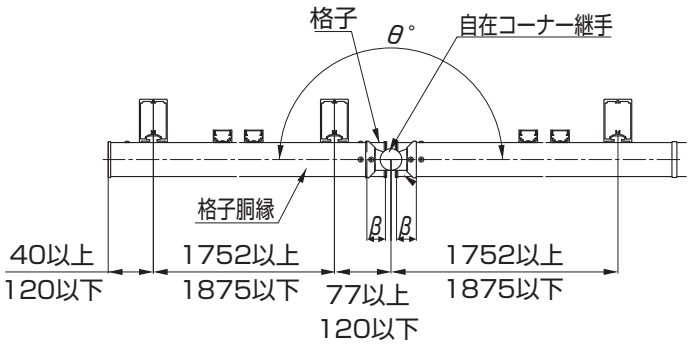
θ	180°～150°	150°～120°	120°～90°
A	59.5	49.5	41
胴縁・胴縁補助切詰め寸法 α	0	10	18.5

表1-12

P_1	P_2	P_3
71	1775	181
	1846	110
144	1704	181
	1775	110

（2）F2型の場合





ポイント

●コーナー施工では、角度によって格子胴縁（本体パネル）の切詰めが必要です。
表1-13を参照して切詰めてください。

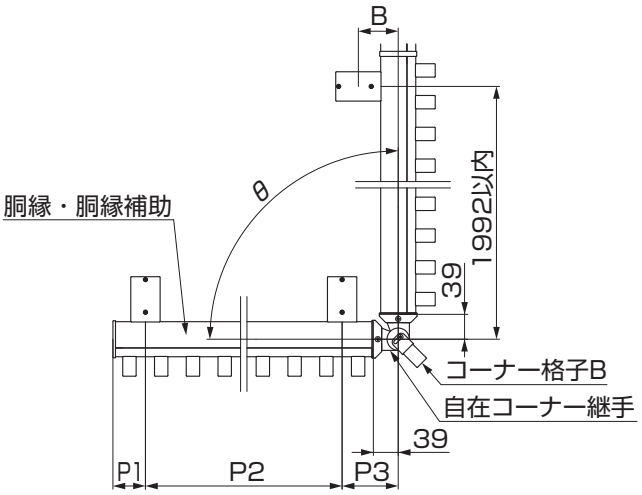
表1-13 切断寸法表

θ	180°～165°	165°～150°	150°～135°	135°～120°	120°～105°	105°～90°
格子胴縁切詰め寸法 β	30	25	20	15	10	0

1.（つづき）

1-4 （つづき）

（3）F3型の場合



ポイント

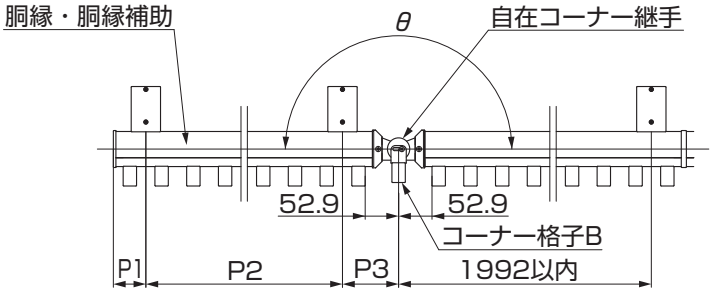
●F3型のコーナー施工の場合は、角度による胴縁と胴縁補助（本体パネル）の切詰めは必要ありません。

表1-14

P_1	P_2	P_3
51	1840	138
	1890	88
100	1791	138
	1840	88

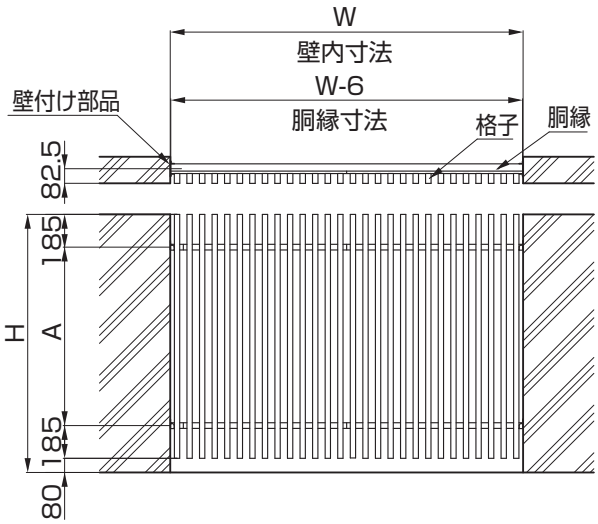
表1-15

呼称	B
T-8	45
T-10	
T-16	62.5
T-18	
T-20	

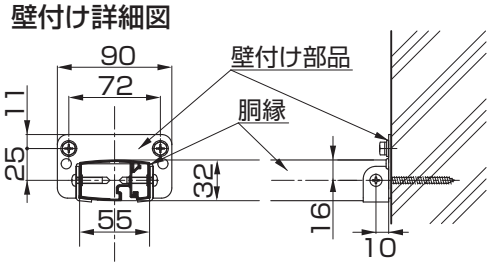


1-5 壁付け施工寸法図

（1）F1型の場合



壁付け詳細図



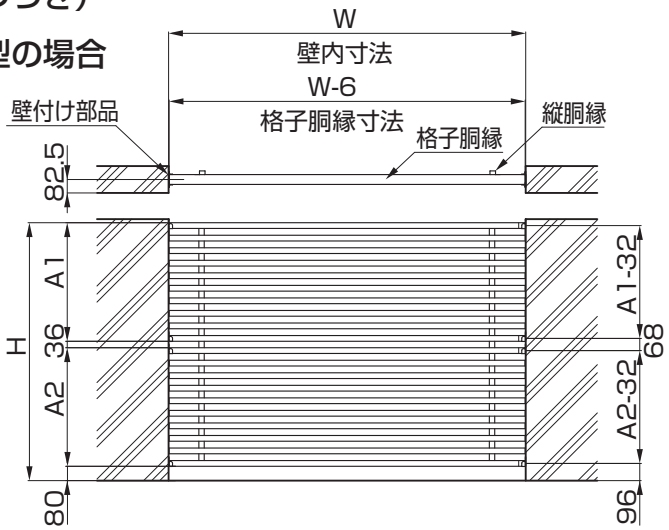
呼称	H	A
T-16	1600	1150
T-18	1800	1350
T-20	2000	1550

補 足

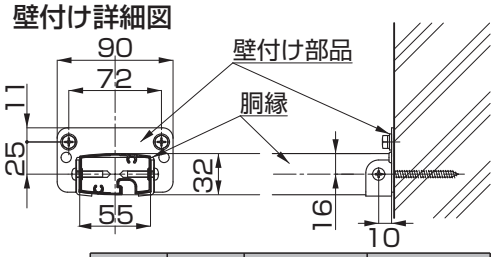
●規格品の胴縁寸法は1988mmです。
●ストレート継手使用時の継手部厚みは4mmです。

1-5 （つづき）

（2）F2型の場合



壁付け詳細図

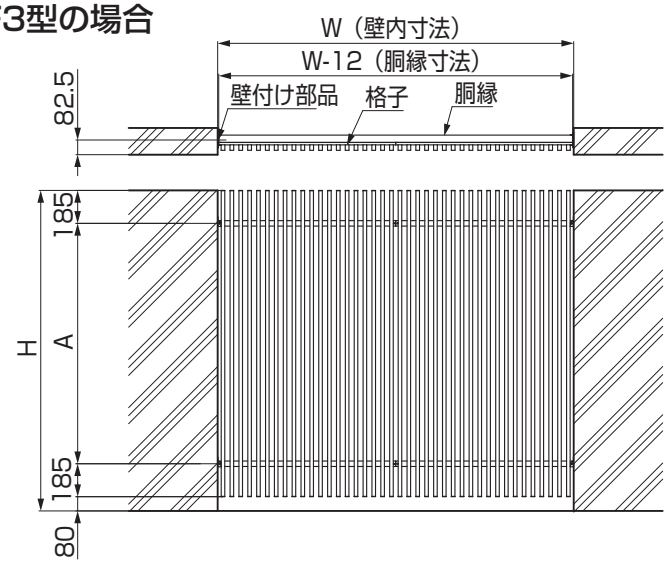


呼称	H	A1	A2
T-16	1580	732(T-8)	732(T-8)
T-18	1790	732(T-8)	942(T-10)
T-20	2000	942(T-10)	942(T-10)

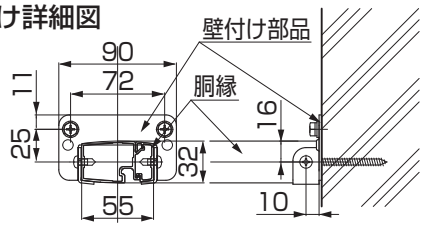
補 足

- 規格品の格子胴縁寸法は1988mmです。
- ストレート継手使用時の継手部厚みは4mmです。

（3）F3型の場合



壁付け詳細図



呼称	H	A
T-8	800	350
T-10	1000	550
T-16	1600	1150
T-18	1800	1350
T-20	2000	1550

補 足

- 規格品の胴縁寸法は1988mmです。
- ストレート継手使用時の継手部厚みは4mmです。

2. 柱の施工

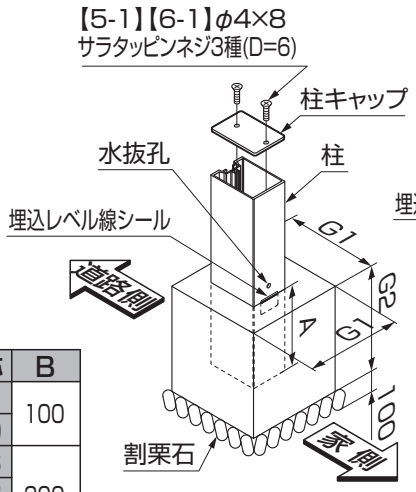


図2-1　独立基礎の場合

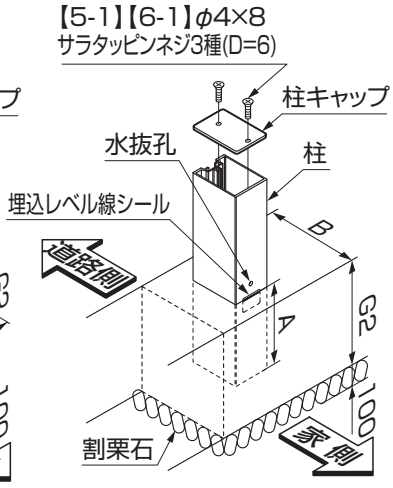


図2-2　連続基礎の場合

呼称	B
T-8	100
T-10	
T-16	300
T-18	
T-20	

①柱キャップを【5-1】【6-1】で取付けてください。
②基本寸法図を参考に基礎施工を行い、柱をコンクリートで固定してください。

注 意

- サイズがT－10を超える場合は、柱をブロックへ施工しないでください。高尺のため強い風圧を受け、フェンス転倒事故へつながる原因となります。
- 基礎が沈降したり傾いたりすることがあるため、必ず割栗石を敷いてください。

ポイント

- 傾斜施工時は、柱センター部が埋込レベルになるように施工してください。

C335_201210E

3. F1型・F3型基本施工

3-1 ブラケット・胴縁の取付け

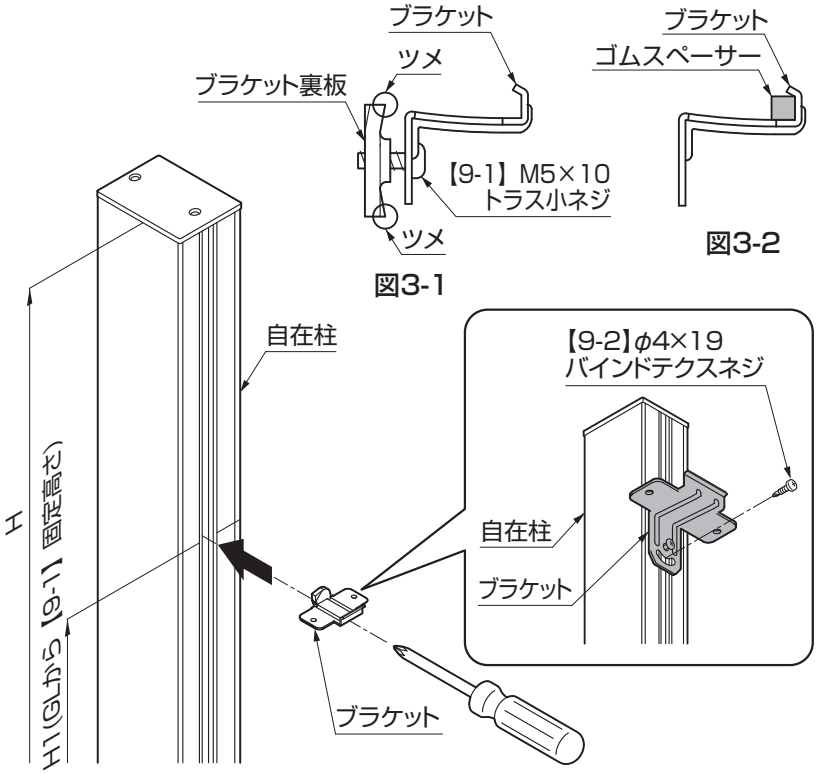


図3-1　図3-2　図3-3

①ブラケットにブラケット裏板を【9-1】で仮組みしてください。（図3-1参照）

ポイント

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側をブラケットに向けてください。

②サイズがT−8またはT−10の場合、ブラケットにゴムスペーサーを貼り付けてください。（図3-2参照）

③ブラケットを柱のH1寸法の高さに組付け、【9-2】で仮止めしてください。（表3-1、図3-3参照）

ポイント

●裏板が溝の中で回転して、ほぼ横向きになったことを確認してください。

●傾斜施工時はブラケットを傾斜角度に合わせて取付けてください。

表3-1

呼称	H	H1	A
T-8	800	590	350
T-10	1000	790	550
T-16	1600	1390	1150

呼称	H	H1	A
T-18	1800	1590	1350
T-20	2000	1790	1550

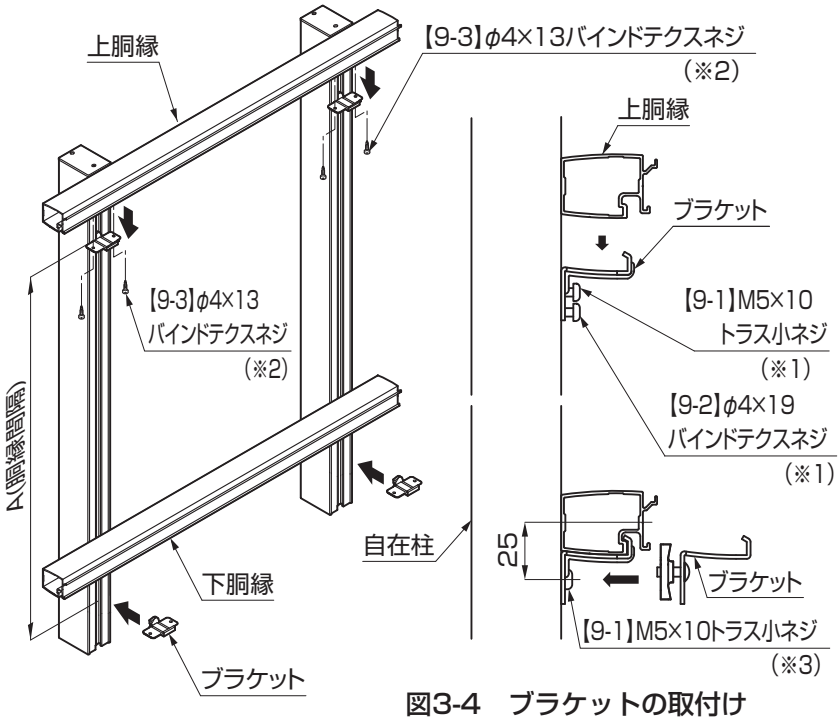


図3-4　ブラケットの取付け

④【9-1】、【9-2】を一旦ゆるめて（※1）、上胴縁をブラケットにはめ込み、再び締め付けてください。

⑤上胴縁とブラケットを【9-3】で固定してください。（※2）

⑥④の胴縁からA寸法の高さになる位置で下胴縁をブラケットにはめ込み、【9-1】（※3）で取付けてください。（図3-4参照）

注 意

●上下の胴縁間隔は±0.5mm以内で取付けてください。寸法が大きく異なると本体パネルの取付けに支障が生じ、取付強度が低下してパネルの外れに繋がります。

ポイント

●コーナー施工時の際、胴縁を前もって切断する場合があります。「5.F1型･F3型コーナー施工」を参照してください。

3. （つづき）

3-2 本体パネルの取付け

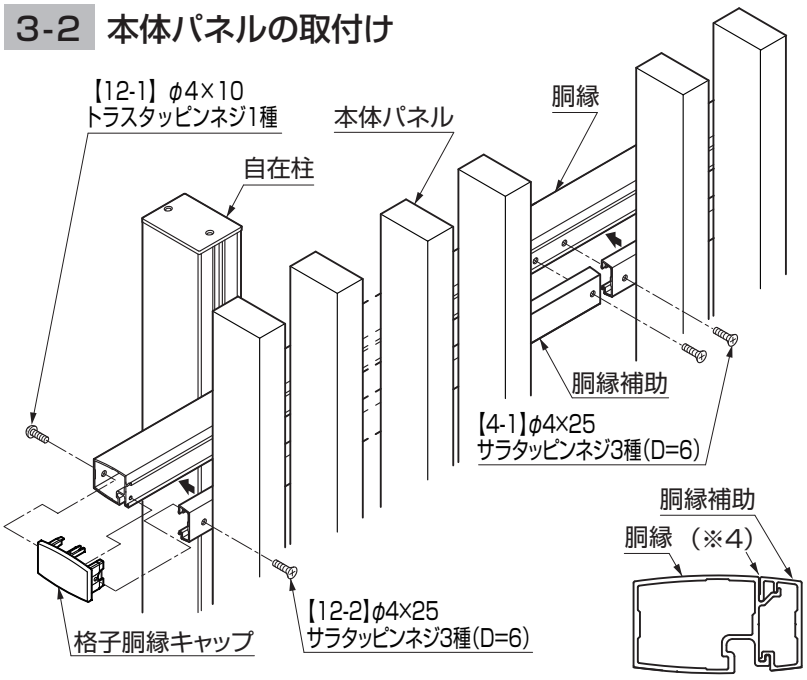


図3-5

①本体パネルの胴縁補助を胴縁に引っ掛けるように取付けて、【4-1】で固定してください。

ポイント

●胴縁と胴縁補助の天面（※4）が揃っていることを確認してください。
（図3-5参照）

②端部に格子胴縁キャップをはめて【12-1】、【12-2】で固定してください。

ポイント

●端部の【12-2】固定は、格子胴縁キャップをはめてから行ってください。

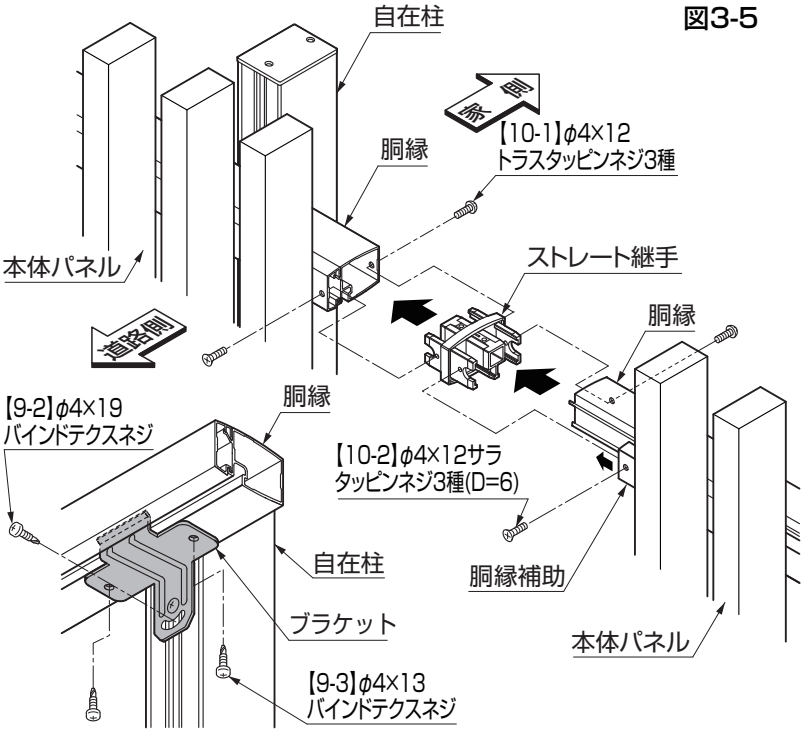


図3-6

③ストレート継手で胴縁同士をジョイントしてください。

ポイント

●道路側は【10-2】を使用し、家側は【10-1】を使用してください。

④③でジョイントした胴縁に本体パネルを①と同様に取付けてください。
⑤全て正しく施工していることを確認した後、柱と柱のブラケットを【9-2】で、下の胴縁とブラケットを【9-3】で固定してください。
（図3-6参照）

3-3 本体パネルの端部切詰め

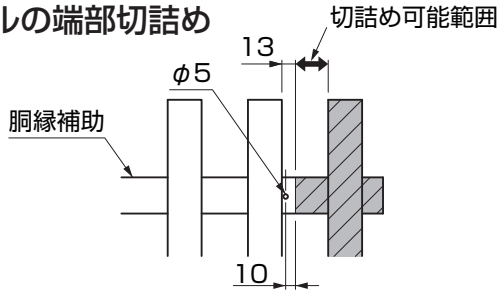


図3-7

①胴縁、胴縁補助を切詰め可能範囲内の長さで切断し、端部から10mmの位置にφ5の孔を開け直して使用してください。
（図3-7参照）

C335_201605F

4. F2型基本施工

4-1 本体パネル（下）の取付け

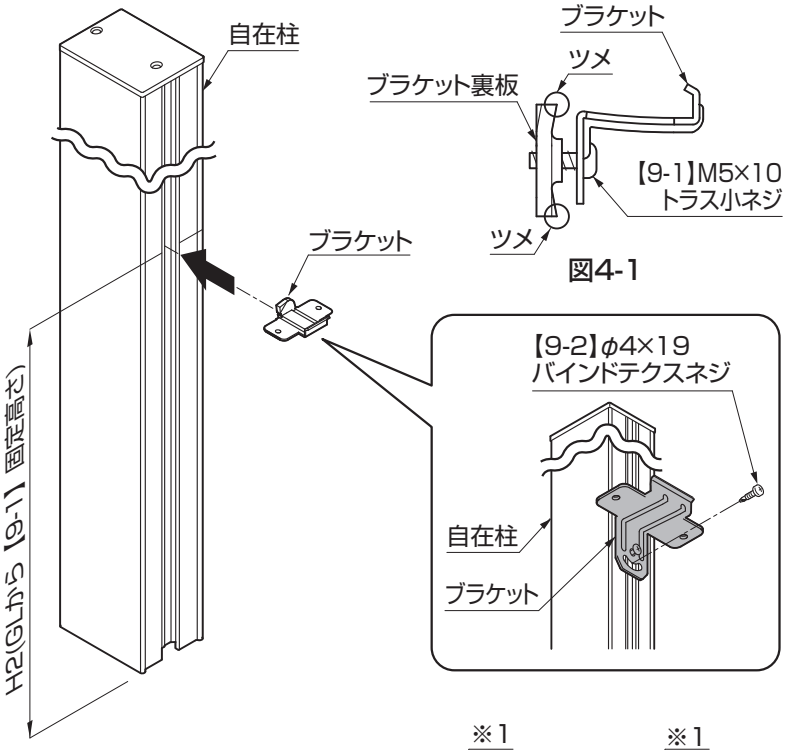


図4-1

表4-1

呼称	H2	A2
T-16	771	732(T-8)
T-18	981	942(T-10)
T-20	981	942(T-10)

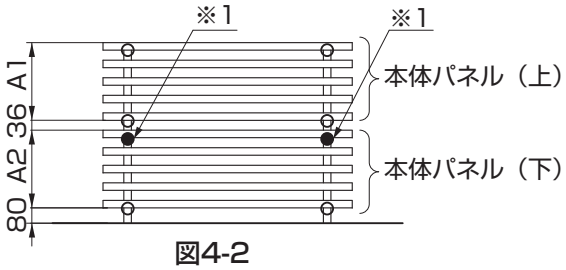


図4-2

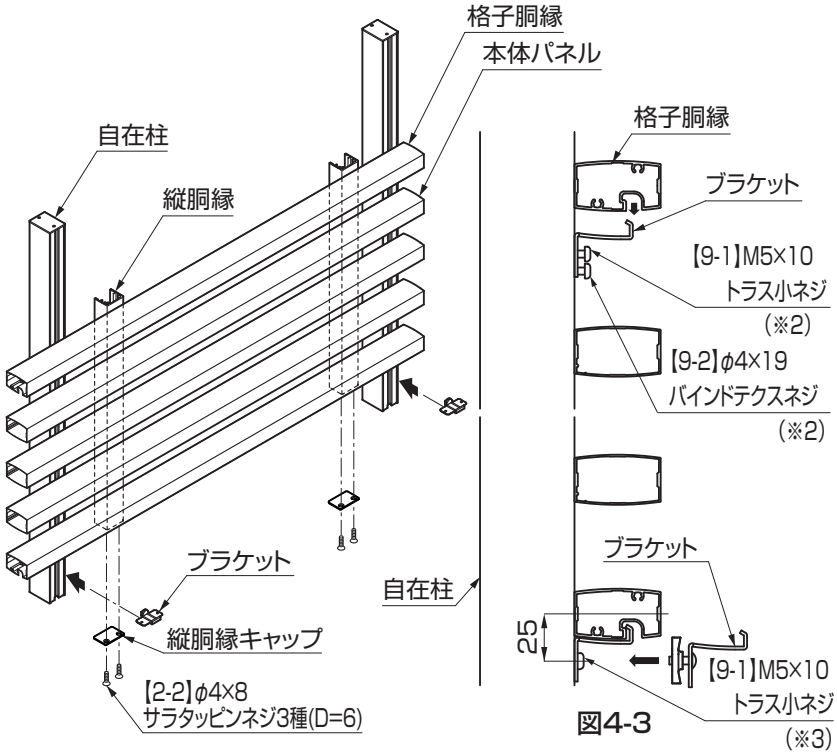


図4-3

①ブラケットにブラケット裏板を【9-1】で仮組してください。(図4-1参照)

ポイント

●ブラケット裏板には表裏があります。角部にツメが立っている側をブラケットに向けてください。

②ブラケットを柱のH2寸法の高さに取付けて、【9-2】で仮止めしてください。
(図4-2、表4-1参照)

ポイント

●本体パネル（下）の上部ブラケットから取付けてください。（※1）
●裏板が溝の中で回転して、ほぼ横向きになったことを確認してください。
●傾斜施工時はブラケットを傾斜角度に合わせて取付けてください。

③本体下側の縦胴縁に縦胴縁キャップを【2-2】で取付けてください。

補 足

●縦胴縁キャップは、本体パネルセット内に4個入りですが、2個を使用します。

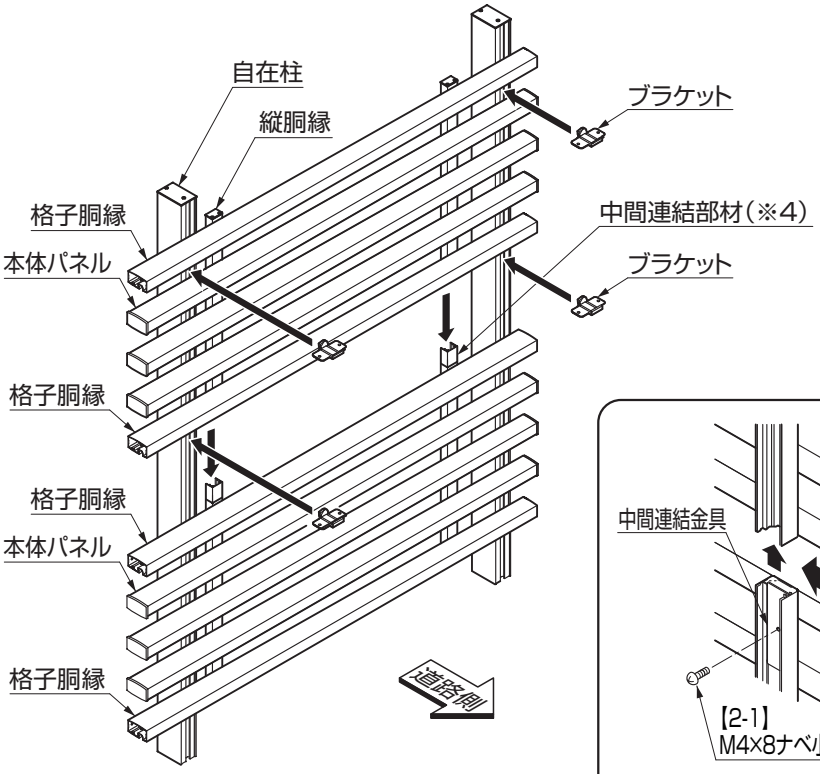
④【9-1】、【9-2】を一旦ゆるめて（※2）、ブラケットにパネルの最上段の格子胴縁の溝をはめ込み、再び締め付けてください。
⑤パネルの最下段の格子胴縁の溝に、ブラケットをはめ込み、【9-1】（※3）で柱とパネルの固定を行ってください。(図4-3参照)

ポイント

●コーナー施工の際、格子胴縁を前もって切断する場合があります。
「6.F2型コーナー施工」を参照してください。

4. （つづき）

4-2 本体パネル（上）の取付け



①本体パネル（下）の縦胴縁に中間連結部材（※4）を取付け、その上に本体パネル（上）を、ブラケットで柱へ取付けてください。

ポイント

●中間連結金具を本体パネル（下）の縦胴縁内と中間連結部材内にスライドして、【2-1】で固定してください。（図4-4参照）

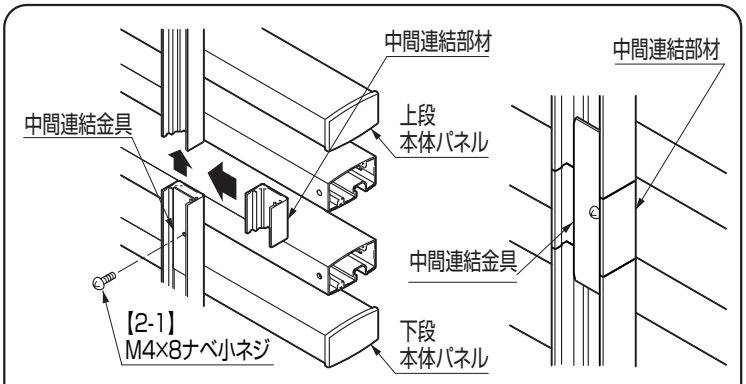
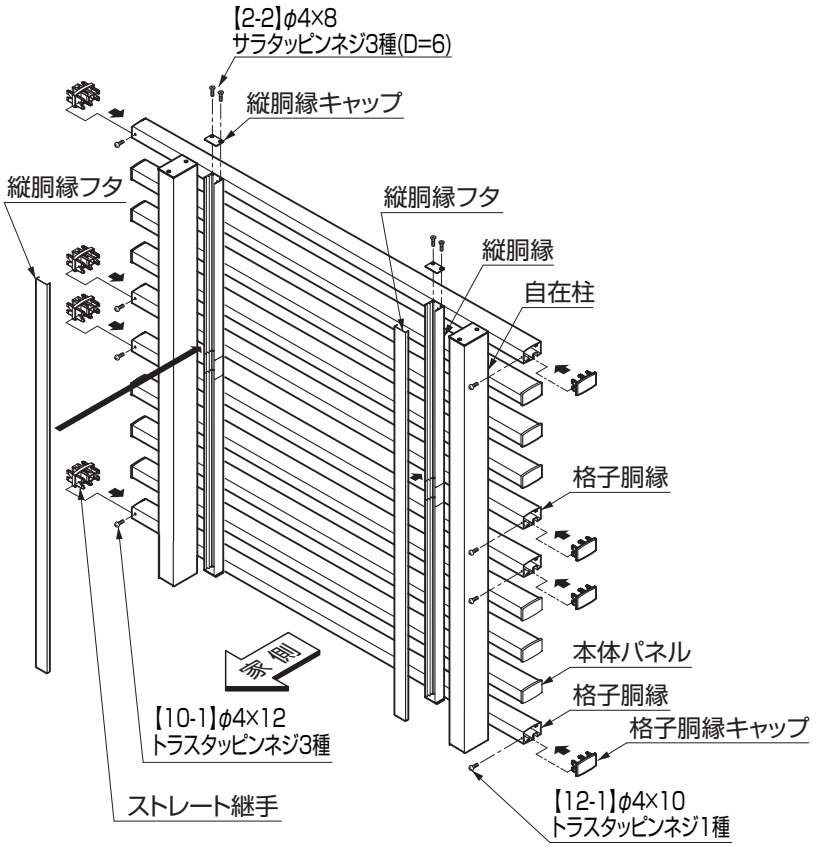


図4-4

4-3 ストレート継手と部品の取付け



①ストレート継手を本体パネルの格子胴縁に【10-1】で取付け、本体パネル同士を連結してください。
②本体パネル端部側の格子胴縁には、格子胴縁キャップを【12-1】で取付けてください。
③本体パネルの縦胴縁に縦胴縁フタをはめ、その小口に縦胴縁キャップを【2-2】で取付けてください。

4. （つづき）

4-3 （つづき）

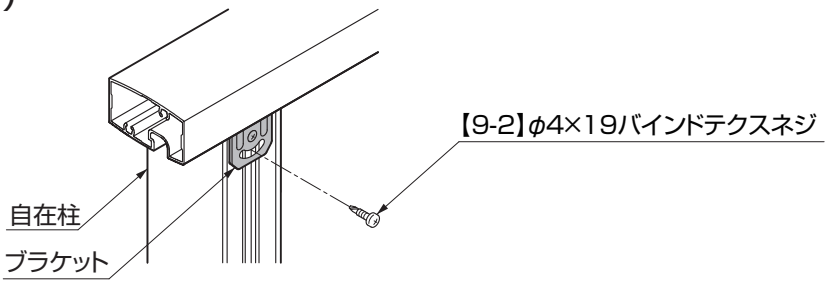


図4-5

④全て正しく施工していることを確認した後、全ての柱と柱ブラケットを【9-2】で固定してください。（図4-5参照）

4-4 本体パネルの端部切詰め

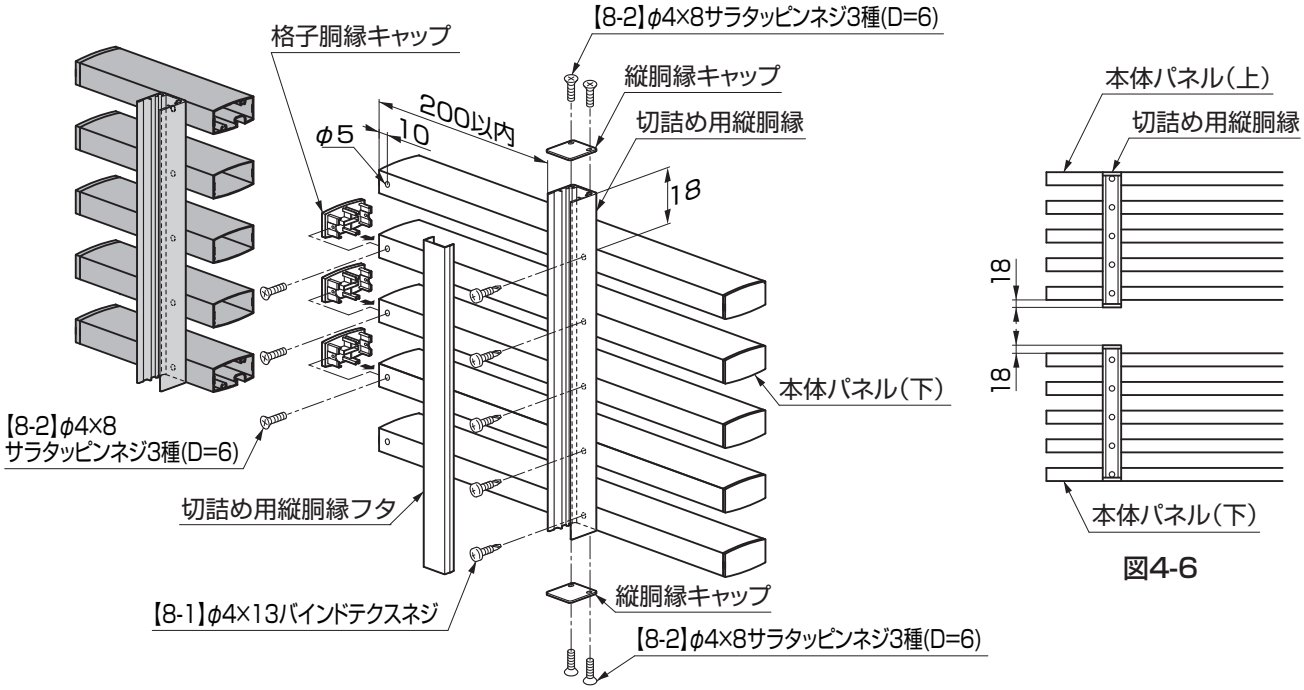


図4-6

①本体パネルの切断位置から200mm以内に、切詰め用縦胴縁を【8-1】で取付けてください。

ポイント

●切詰め用縦胴縁の取付けには上下の向きがあります。図4-6を参照して取付けてください。

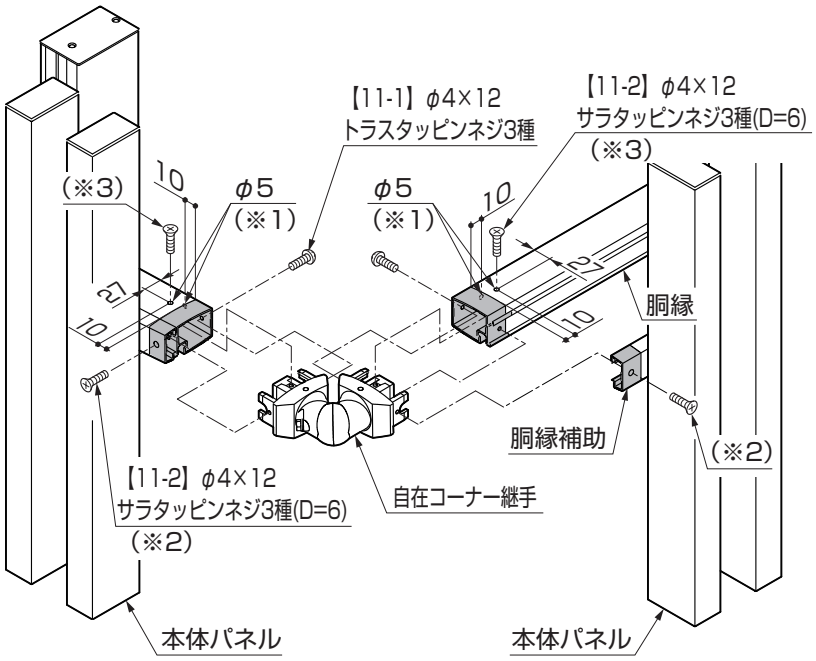
②本体パネルを切断し、格子と格子胴縁に端部から10mmのところにもとの通りφの5の孔を開けてください。
③格子に格子胴縁キャップを【8-2】で取付けてください。
④①の切詰め用縦胴縁に切詰め用縦胴縁フタをはめ、その小口に縦胴縁キャップを【8-2】で取付けてください。

ポイント

●縦胴縁キャップと【8-2】は、本体パネルセット内に梱包している部品を使用してください。
●切詰めたパネルの両側を使用する場合は、切詰め部材がもう1セット必要です。

5. F1型・F3型コーナー施工

5-1 本体パネルの取付け



ポイント

- ●F1型の場合、コーナー部の格子間隔を均等にするために、胴縁と胴縁補助の切断を行う場合があります。
  P7の表1-11を参照してください。
- ●切断後は胴縁の内面と上面に端部から10mmの位置にφ5の孔を開けてください。（※1）

①胴縁・胴縁補助、もう1方の胴縁にコーナー継手をはめ込み【11-1】、【11-2】で取付けてください。

ポイント

- ●ネジ（※2）は切断した場合は不要です。
- ●上面のネジ（※3）は切断時のみ使用します。
- ●自在コーナー継手は（※4）のボルトを緩め、各部品を回転することで3次元に向きを変えることができます。

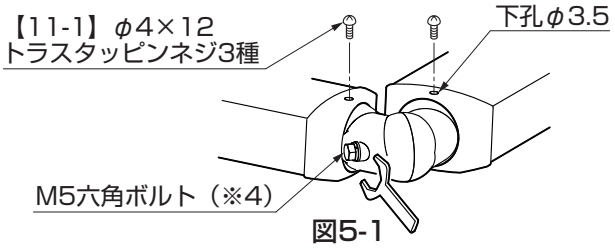
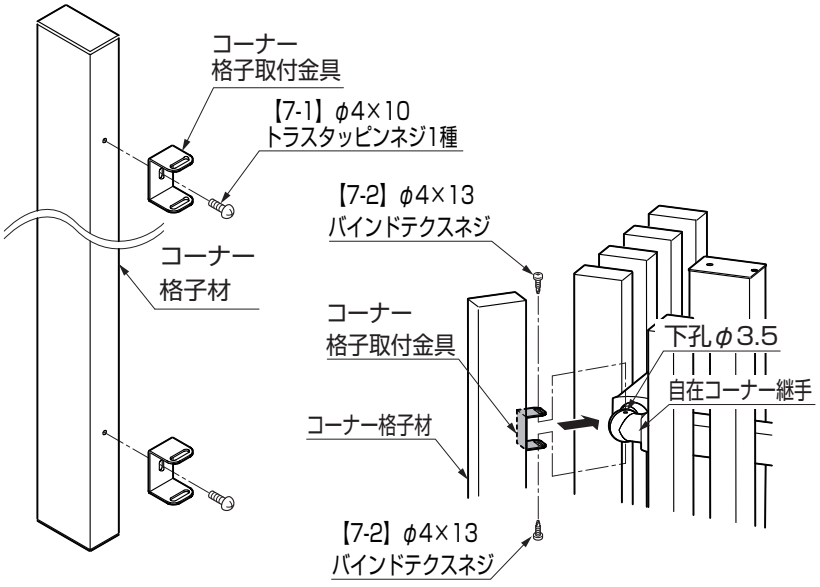


図5-1

②本体パネルを胴縁に引っ掛け、コーナー継手にスライドして呑み込ませ、【11-2】で固定してください。
③全て正しく施工していることを確認した後、（※4）のボルトと【11-1】で自在コーナー継手を固定してください。
（図5-1参照）

5-2 コーナー格子の取付け



①コーナー格子材にコーナー格子取付金具を【7-1】で取付けてください。
②①のコーナー格子材の金具部を自在コーナー継手にはめ込み、φ3.5の下孔を開け、【7-2】で取付けてください。

ポイント

- ●【7-2】のネジ止めは、コーナー格子取付金具の長孔の両端部で上下違えて固定してください。（図5-2参照）

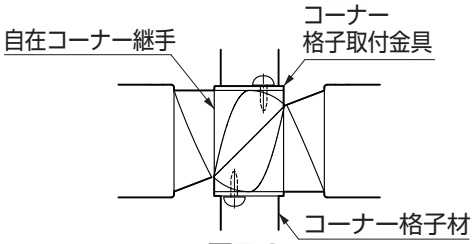


図5-2

C335_201712H

6. F2型コーナー施工

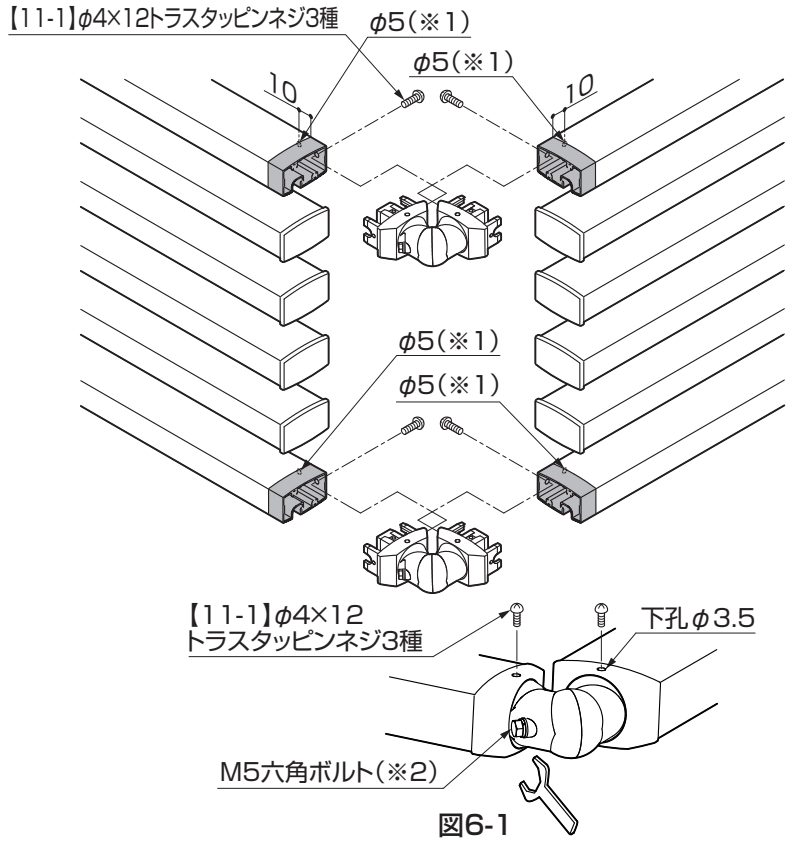


図6-1

ポイント

- ●コーナー部のすき間を小さくするために、格子胴縁の切断を行う場合があります。P7の表1-13を参照してください。
- ●切断した後で格子胴縁の内面に、端部から10mmの位置にφ5の孔を開けてください。（※1）

①フェンス同士の格子胴縁にコーナー継手をはめ込み【11-1】で取付けてください。

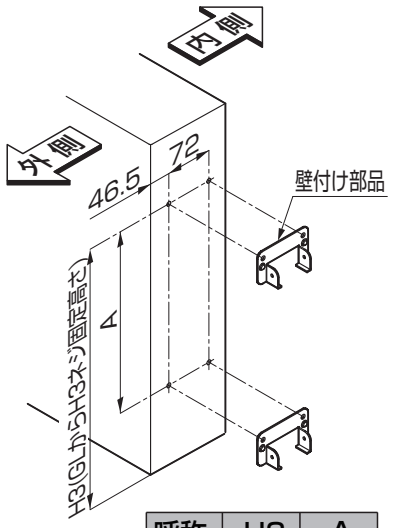
ポイント

- ●自在コーナー継手は（※2）のボルトを緩め、各部品を回転することで3次元に向きを変えることができます。

②全て正しく施工していることを確認した後、（※2）のボルトと【11-1】で自在コーナー継手を固定してください。(図6-1参照)

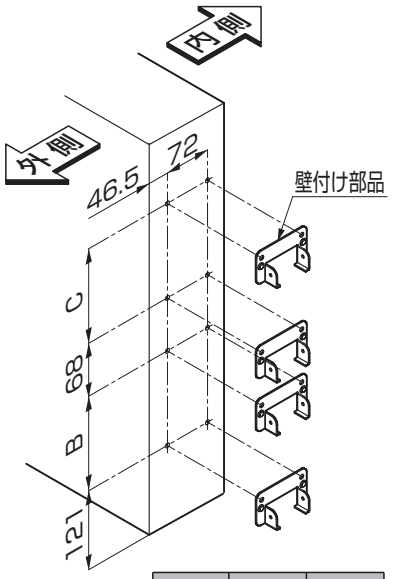
7. 壁付け施工

7-1 壁付け部品の取付け位置



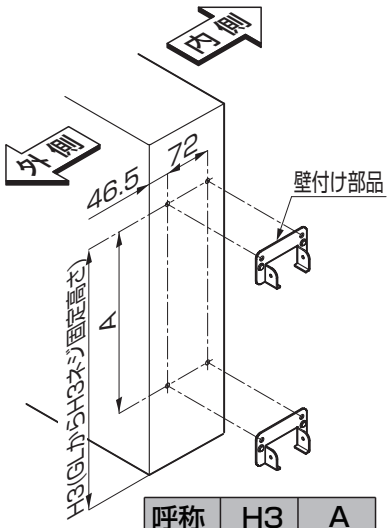
呼称	H3	A
T-16	1440	1150
T-18	1640	1350
T-20	1840	1550

図7-1　F1型の場合



呼称	B	C
T-16	700	700
T-18	910	700
T-20	910	910

図7-2　F2型の場合



呼称	H3	A
T-8	640	350
T-10	840	550
T-16	1440	1150
T-18	1640	1350
T-20	1840	1550

図7-3　F3型の場合

ポイント

- ●壁付け部品の取付く位置に充分な強度があることを確認してください。

7-2 壁付け部品の取付け

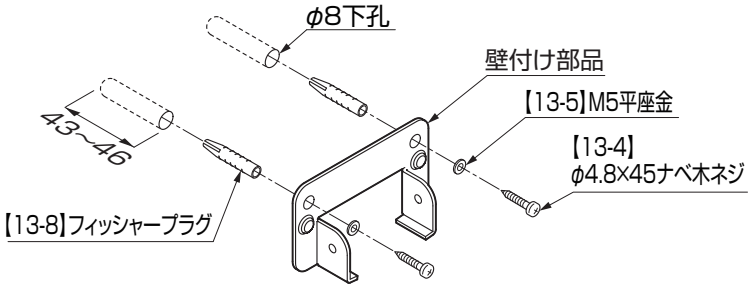


図7-3 コンクリート取付けの場合

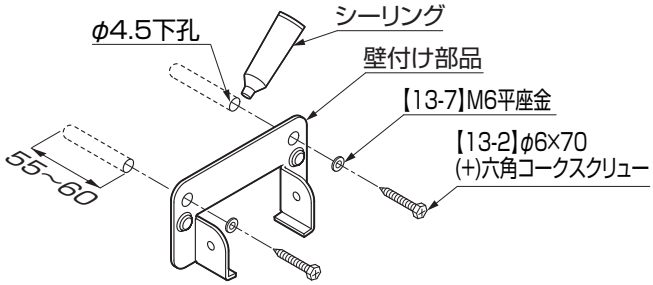


図7-4 木造取付けの場合

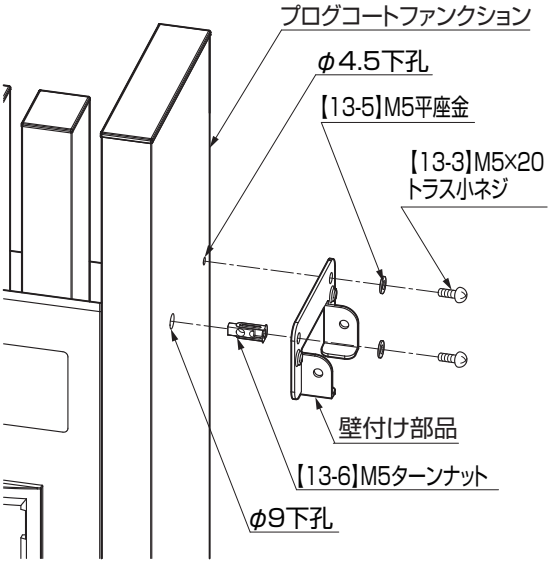
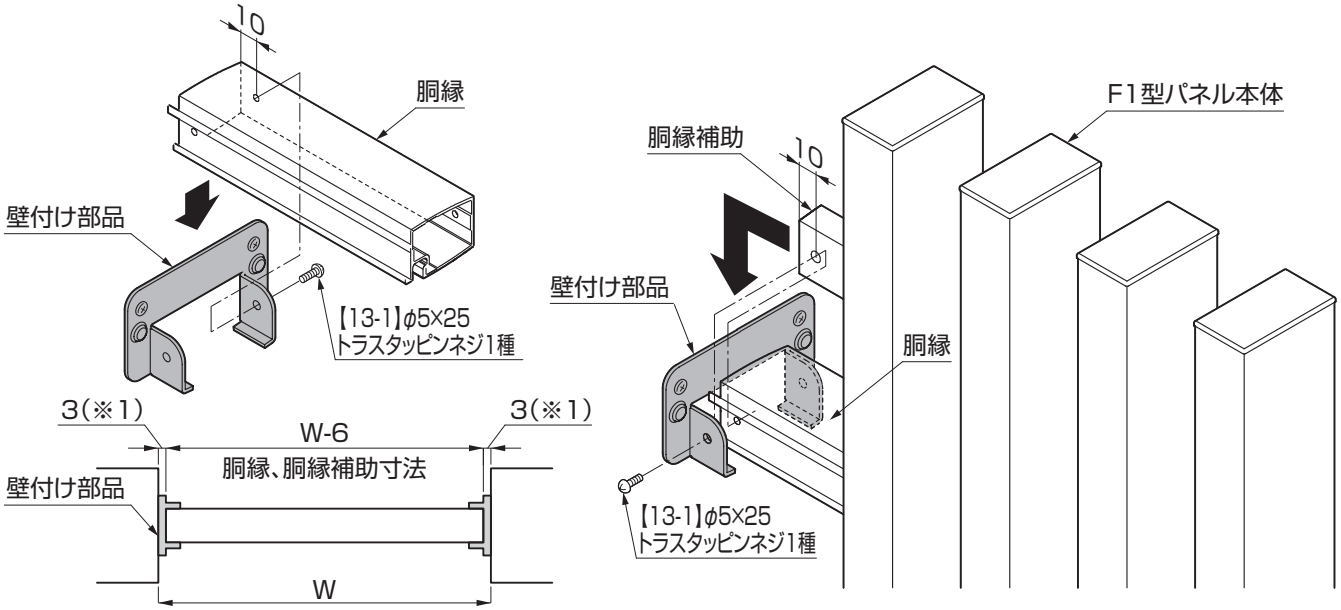


図7-5
プログコートファンクション
取付けの場合

①図のように、取付ける材料に合わせた部品で壁付け部品を取付けてください。

7-3 F1型本体パネルの取付け



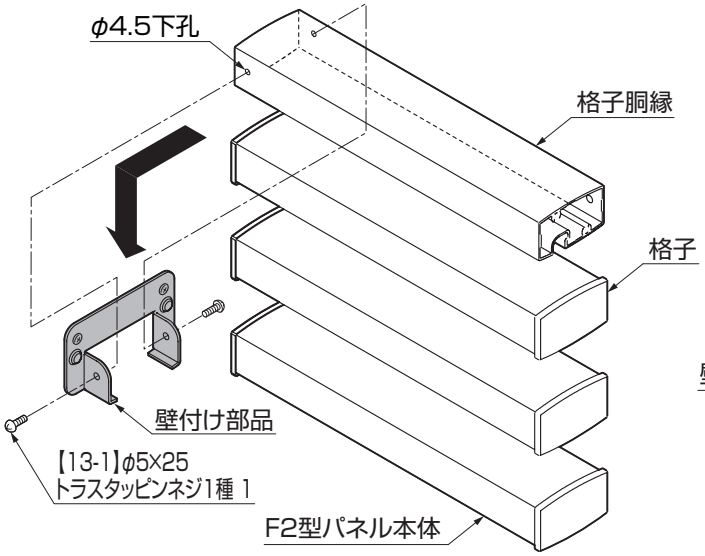
①胴縁を壁付け部品にのせ、内側から【13-1】で取付けてください。
②本体パネルを上から胴縁へ落し込むようにはめ込み、外側を【13-1】で取付けてください。

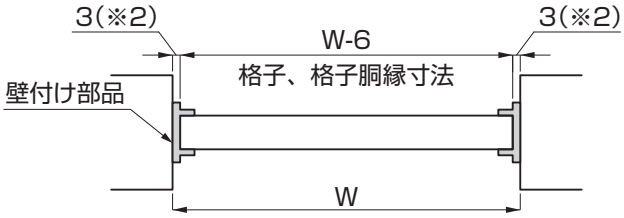
ポイント

●胴縁、胴縁補助の長さは、取付面から片側で3mm短くします。（※1）
●規格品の胴縁のL寸は1988mmです。

7. （つづき）

7-4 F2型本体パネルの取付け



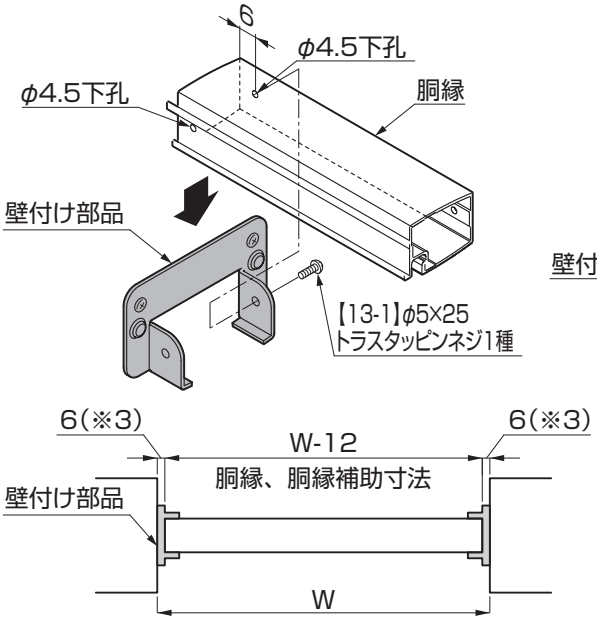


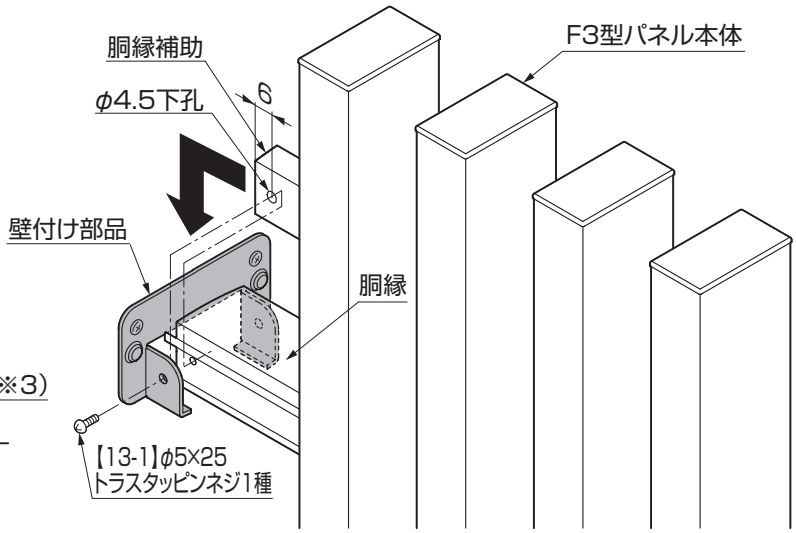
①本体パネルの格子胴縁を壁付け部品にのせ【13-1】で取付けてください。

ポイント

●格子胴縁の長さは、取付面から片側で3mm短くします。（※2）
●規格品の格子胴縁のL寸は、1988mmです。

7-5 F3型本体パネルの取付け



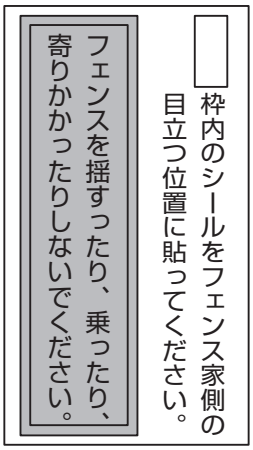


①胴縁および胴縁補助の端部から6mmの形材中心に、φ4.5の下孔をあけてください。
②胴縁を壁付け部品にのせ、内側から【13-1】で取付けてください。
③本体パネルを上から胴縁へ落とし込むようにはめ込み、外側を【13-1】で取付けてください。

ポイント

●格子胴縁の長さは、取付面から片側で6mm短くします。（※3）
●規格品の格子胴縁のL寸は1988mmです。

8. 注意シールの貼付け



①必ず注意シールをフェンス本体または柱の家側の目立つ位置に貼ってください。

注 意

●注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

取説コード
C335
JZZ611424G
200602A_1001
201712H_1049